

風戸研究奨励会 第五回(平成23年度)

〈風戸賞〉・〈風戸研究奨励賞〉

授賞式 開催報告

財団法人風戸研究奨励会（理事長 田中 通義）は、2012年2月25日（土）、経団連会館において、第五回（平成23年度）〈風戸賞〉・〈風戸研究奨励賞〉授賞式を開催しました。

受賞者は下記の4名です。

〈風戸賞〉

内田 正哉 殿 埼玉工業大学

先端科学研究所 准教授

「軌道角運動量を搭載した電子ビームの実現」

中川 輝良 殿 カルフォルニア大学 サンディエゴ校

生命化学部門 アシスタントプロフェッサー

「電子顕微鏡を用いた脳グルタミン酸受容体複合体形成過程の解析」

〈風戸研究奨励賞〉

柳澤 啓史 殿 スイス連邦工科大学 チューリッヒ校 (ETH Zurich)

量子エレクトロニクス部門 博士研究員

「極低温レーザー誘起電界放出電子のコヒーレンス計測」

鈴木 應志 殿 ノースカロライナ大学 チャペルヒル校

生物学部 博士研究員

「細胞分裂を制御するオーロラキナーゼの超高分解能時空間解析」

授賞式には、当財団の主務官庁である文部科学省の方をはじめ、社団法人日本顕微鏡学会や研究機関、企業の研究者や各界の諸先輩、過去の受賞者の方など、多数の方にご参加頂き、盛会に開催されました。授賞式後には懇親パーティーを行い、歓談が弾み、貴重な交流の場となりました。ご参加いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。

授賞式

理事長 挨拶

田中 通義（東北大学 名誉教授）



ご祝辞

文部科学省 研究振興局長 吉田 大輔 様
代読 学術研究助成課 学術団体専門官
石井 康雄 様



授与式、受賞者ご挨拶

＜風戸賞＞ 内田 正哉 様



埼玉工業大学 先端科学研究所 准教授

研究課題：

「軌道角運動量を搭載した電子ビームの実現」

＜風戸賞＞ 中川 輝良 様



カルフォルニア大学 サンディエゴ校
生命化学部門 アシスタントプロフェッサー

研究課題：

「電子顕微鏡を用いた脳グルタミン酸受容体
複合体形成過程の解析」

＜風戸研究奨励賞＞ 柳澤 啓史 様



スイス連邦工科大学 チューリッヒ校 (ETH Zurich)
量子エレクトロニクス部門 博士研究員

研究課題：

「極低温レーザー誘起電界電子放出の
電子コヒーレンス計測」

＜風戸研究奨励賞＞ 鈴木 應志 様



研究課題：
「細胞分裂を制御するオーロラキナーゼの
超高分解能時空間解析」

ノースカロライナ大学 チャペルヒル校
生物学部 博士研究員

記念写真



懇親パーティー



風戸研究奨励会 評議員 山科 正平

挨拶

受賞者へのお祝いの言葉と電子顕微鏡学を
発展させて頂きたいとの期待の言葉を述べ
ました。

ご祝辞

受賞者の方へのお祝いの言葉と当財団の
活動に対して、謝辞を述べられました。

社団法人日本顕微鏡学会
会長 森 博太郎 様





乾杯

受賞者の方へのお祝いの言葉と、皆様と一緒に日本発の技術を世界に発信していきたいと述べられました。

日本電子 代表取締役社長 栗原 権右衛門 様



ご歓談

多くの方々にご参加頂きました。

祝辞



受賞者の方へのお祝いの言葉と当会事業を支援して頂いている日本電子(株)に対して謝辞を述べました。

名城大学元学長/風戸研究奨励会会友 丸勢 進

受賞者の方へのお祝いの言葉と世界トップレベルにある受賞者に対して、今後の活躍への期待を述べました。

日本電子元社長/風戸研究奨励会会友 原田 嘉晏

祝辞



歴代受賞者代表ご挨拶

受賞者の方へのお祝いの言葉がありました。
また電子顕微鏡発展の担い手として、今後
も取組んでいくとの誓いの言葉を述べられ
ました。

東京大学 大学院 工学系研究科
准教授 阿部 英司 様



中締め



受賞者の方へのお祝いの言葉がありました。
また、大きな成果に結びつけて欲しいと受賞
者への期待の言葉を述べました。

風戸研究奨励会 選考委員 藤本 豊士

祝 辞

第五回風戸賞並びに風戸研究奨励賞の授賞式に当たり、一言御挨拶申し上げます。

このたび、栄えある賞を受けられた皆様、誠におめでとうございます。皆様は、厳正な審査の結果、その深い探究心と強い意欲から生まれた独創的・先駆的な研究で、電子顕微鏡やその関連分野において、優れた業績を挙げられた研究者として、また、将来を期待される優秀な研究者として、極めて高い評価を得て選ばれたと伺っております。今回の受賞を契機として、今後も皆様の研究が一層進展し、科学技術の振興に大きく貢献されることを御期待申し上げます。

風戸研究奨励会は、昭和四十四年に設立されて以来、電子顕微鏡並びに関連装置の研究などに対し、多くの助成並びに褒賞を行ってこられました。このような継続的な取組は、研究者の励みになるとともに、我が国の研究水準の向上に大きな役割を果たしております。

貴財団の功績に対し、心より敬意を表するものであります。

個人や企業の篤志により設立された財団法人が、「新しい公共」の一翼を担い、それぞれの理念に基づき事業を行うことは、高い志をもつて夢に挑戦する若者を元気づけ、幅広い活躍を後押しする上で大きな意義を有するものであります。今後とも次代を担う優れた人材の育成に積極的に取り組んでいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、田中理事長をはじめ、関係の皆様のことこれまでの御尽力に對して深く敬意を表し、貴財団の更なる発展を祈念いたしますとともに、本日各賞を受けられた皆様に改めてお慶びを申し上げます。お祝いの言葉といたします。

平成二十四年二月二十五日

文部科学省研究振興局長

吉田 大輔